

科目名 (英)	哲学 ( philosophy )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
【授業の学習内容】 医療、福祉をめぐる様々な課題について知り、それに対する自己の認識や支援のあり方について理解し、実践できるようになる。 現代の生命倫理の全体像を把握し、日本での生命倫理、尊厳死、臓器移植の現状について理解する。 利用者のターミナル期を支援する視点を養い、実践できるようになる。							
【到達目標】 現代の医療・福祉の諸問題について理解し、自己の見解を持てるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	「現代の医の倫理①」…ヒポクラテスの誓い、生命倫理の4原則について理解し、その重要性について説明できるようになる。
2回目	「現代の医の倫理②」…ナラティブ倫理学、フェミニスト倫理学の概要を理解し、その内容を説明できるようになる。
3回目	「生命の質①」…障害新生児の選択的治療中止の問題について学び、もし自分が当該の親と同じ立場であればどのような方法を選択するか、考えて意見交換ができる。
4回目	「生命の質②」…障害の社会モデル、優生学、ハンセン病について学び、優性思想の是非について意見交換できるようになる。
5回目	「生命の質③」…出生前診断と親の障害受容について学び、福祉の推進と出生前診断は両立するかについて意見交換できるようになる。
6回目	「患者・医療者関係」…患者の自己決定とIC、パターナリズムの概念について理解し、パターナリズムと自己決定について説明できるようになる。
7回目	「臓器移植①」…脳死・臓器移植法改正について学び、理解することができる。
8回目	「臓器移植②」…脳死・臓器移植法改正について理解し、身体の所有権について討議することで個々人の価値観があることが理解できる。
9回目	「安楽死と尊厳死①」…積極的安楽死、消極的安楽死について学び、ターミナルケアの利用者のQOLについて知見を深めることができる。
10回目	「安楽死と尊厳死②」…リビングウィル、尊厳死について学び、利用者のターミナル期に必要な支援について理解できる。
11回目	「生命の始まり①」…人工妊娠中絶の倫理的意義を学び、生命の尊厳について理解できるようになる。
12回目	「生命の始まり②」…AID、代理出産の倫理的意義を学び、生命の尊厳について理解できるようになる。
13回目	「クローン人間の倫理」…生殖クローニングについて学び、意見交換することができる。
14回目	「ケアの倫理①」…ケアすることの意味について考え、介護の仕事の価値を確認することができる。
15回目	「ケアの倫理②」…ケアにおける他者の承認とアイデンティティについて理解し、介護の仕事の価値を確認することができる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】  教科書： はじめて出会う生命倫理 (有斐閣アルマ)	